

「第9回 JICE 研究開発助成 成果報告会」の報告

沼尻恵子

情報・企画部
上席主任研究員



1. はじめに

JICE では、住宅・社会資本整備に係わる先進的な研究・技術開発に対して助成を行い、より良い国土の利用・整備又は保全に寄与することを目的として、研究開発を支援する助成制度を平成 11 年度より実施しており、延べ 117 件の研究に対し助成している。

その研究成果を社会へ還元する方策の一つとして、研究開発助成成果報告会を開催しており、今年度で第 9 回目を迎えたところである。第 9 回研究開発助成成果報告会は、平成 21 年 11 月 19 日に（木）JICE 会議室において開催し、平成 19 年度助成研究者による成果報告（12 研究）がなされた。

2. 第 9 回助成研究の成果報告

今回成果報告を行ったのは、平成 19 年度に公募した以下の 12 件である。これらの研究の成果概要については JICE ホームページの研究開発助成事業で掲載しているので、あわせてご覧頂きたい。



写真 成果報告会の会場の様子

表 成果報告された研究課題一覧

（敬称略）

	研究課題名	研究者名
1	都市域における種多様性の戦略的保全に向けたシナリオ分析手法の研究	東京大学大学院農学生命科学研究科生態システム学専攻 教授 武内 和彦
2	新しいテラヘルツ光を用いた構造物内部欠陥探傷	東北大学 大学院工学研究科知能デバイス材料学専攻 教授 小山 裕
3	超分子の分子認識能を利用した環境ホルモン様物質の選択的除去	九州大学大学院 工学研究院環境都市部門 助教 大石 京子
4	廃棄物焼却残渣を主原料とした資材開発と国土保全への活用	鹿児島工業高等専門学校土木工学科 准教授 前野 祐二
5	超塑性発泡法による非織維断熱材の創製	岡山大学大学院自然科学研究科機能分子化学専攻 教授 岸本 昭
6	高加工性超弾性合金を用いた制震部材の開発	京都大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授 荒木 慶一
7	建築基準法天空率規制に関する解析的研究	筑波大学大学院システム情報工学研究科社会システムマネジメント専攻 教授 大澤 義明

8	最適な水環境保全事業の展開に向けた水質影響評価システムの構築～天橋立・阿蘇海流域を対象として～	京都大学大学院 工学研究科附属 流域圏総合環境質研究センター 教授 清水 芳久
9	国道沿い屋外広告物の視認性に基づく規制に関する調査研究	富山大学 人間発達科学部人間環境システム学科 准教授 秋月 有紀
10	文化遺産と伝統的町並みを地震火災から守る防火システムの研究開発	立命館大学理工学部都市システム工学科 教授 大窪 健之
11	車椅子ドライバーの運転負担とこれからの自動車道路整備と安全対策に関する研究	近畿大学 理工学部社会環境工学科 教授 三星 昭宏
12	浚渫改良土のマイクロ・マクロメカニクスに基づく第二種特定有害物質拡散抑止技術の開発	佐賀大学 低平地研究センター 講師 田口 岳志

3. 研究開発助成の見直しと 本年度応募状況

制度設立より10年を経たことから、研究開発助成の対象について、今年度（第11回）の募集より下表にて見直しを図ったところである。公募は平成21年9月28日～平成21年11月30日まで行い、82件の応募があった。

この見直しによってさらに本研究開発制度が活用され、よりよい研究成果が得られることを期待している。

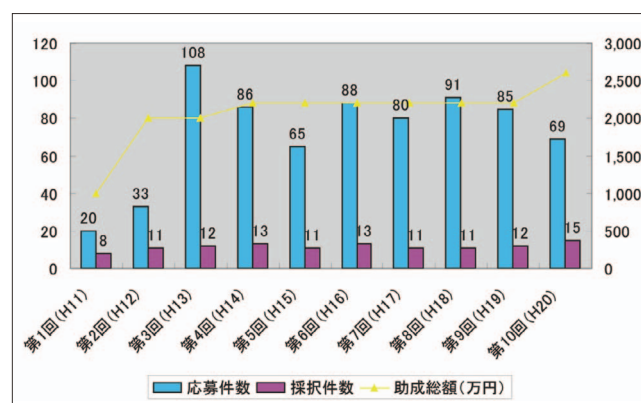


図 研究開発助成の実績

表 研究開発助成の対象

応用 研究 課題	研究開発の成果が次の①～③のいずれかに該当する研究。		応募件数	
	①安全に安心して暮らせる国土の実現に寄与するもの。			40
	②人・もの・情報が効率的に通いあえる国土の実現に寄与するもの。			3
	③心豊かに暮らせる快適で美しい国土の実現に寄与するもの。			13
重点 研究 課題	④洪水リスク評価に関する研究	気候変動や局所豪雨の増大等により計画を超える降雨の発生が予想され、これらに対する洪水被害等を最小化するための施策に繋がる基礎的又は応用研究。例えば、浸水リスクの分析、浸水被害推定手法、想定されるリスクとその評価手法に関する研究など。	5	
	⑤河川堤防の信頼性評価に関する研究	河川堤防の断面及び法線延長でみた場合の洪水に対する信頼性設計の基礎となる研究。例えば、土堤の外力に対する破壊確率、実洪水での現象を基にした破堤リスク分析に関する研究など。	3	
	⑥道路空間の有効活用並びに道路ネットワークの最適化に向けた政策立案に寄与する研究	「道路空間の有効活用」とは、例えば、道路構造のあり方や道路空間の再構築などを指し、「道路ネットワークの最適化」とは、例えば、最適な道路ネットワークのあり方や料金施策等既存ネットワークの有効活用などを指す。	5	
	⑦都市の安全性を評価するための技術に関する研究	自然災害等（地震、火災、風水害）に対して、都市における基盤整備等がどのように安全性を高めるのか、都市（街区単位）の安全性を評価する視点と評価方法に関する研究。例えば、基盤整備等とは、道路・公園等の都市基盤の整備、建物更新や消防団の形成といったコミュニティの維持などのハード・ソフトに係る対応を含む。	11	
	⑧公共投資を円滑かつ効率的に推進するための政策立案に寄与する研究	公共事業の発注者及び受注者の双方にとって合理的で公正な契約プロセスやシステムに繋がる研究。例えば、公共調達における評価方法、リスク分担、第三者機関の役割・仕組み等に資する研究。	2	

計 82件